



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

ろう孔管理関連

区分別科目



- (A) 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター

犬飼 道雄 氏

OSCE

胃ろうカテーテルもしくは 腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの 交換

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター
犬飼道雄

この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
既に交換を最低1回済ませている患者で、
何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
・定期的交換の時期

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない、
- 瘻孔から出血していない、
- 胃痙である(経食道瘻、経小腸瘻でない)、
- 内部ストッパーがバルーン型である、
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である、
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の範囲外

不安定
緊急性あり

⇒ 担当医師に直接連絡し指示をもらう

病状の範囲内

↓

安定
緊急性なし

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
既に交換を最低1回済ませている患者で、
何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
・定期的交換の時期

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない、
- 瘻孔から出血していない、
- 胃痙である(経食道瘻、経小腸瘻でない)、
- 内部ストッパーがバルーン型である、
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である、
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の範囲外

不安定
緊急性あり

⇒ 担当医師に直接連絡し指示をもらう

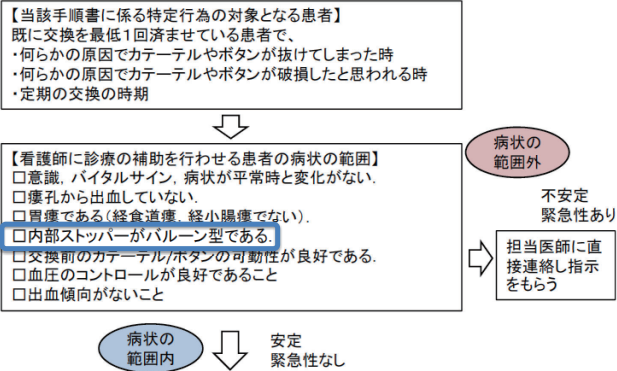
病状の範囲内

↓

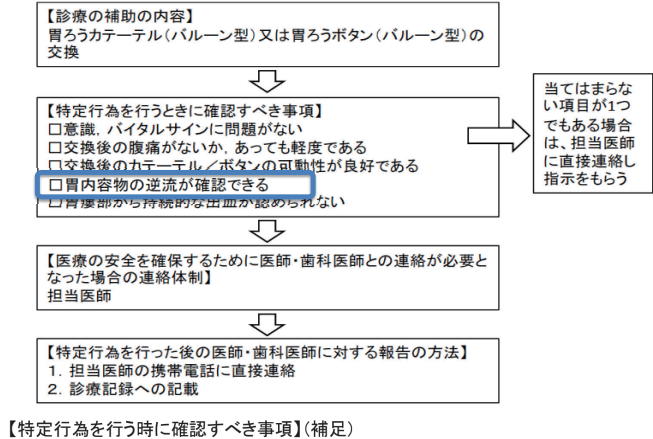
安定
緊急性なし

手順書その1を確認

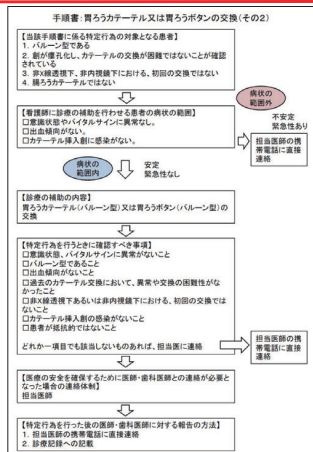
手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)



手順書その1を確認

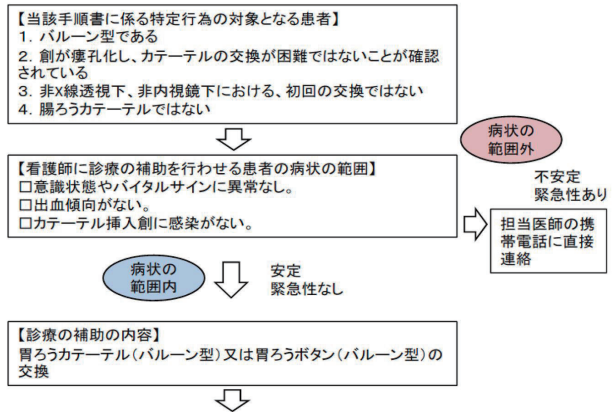


手順書その2を確認

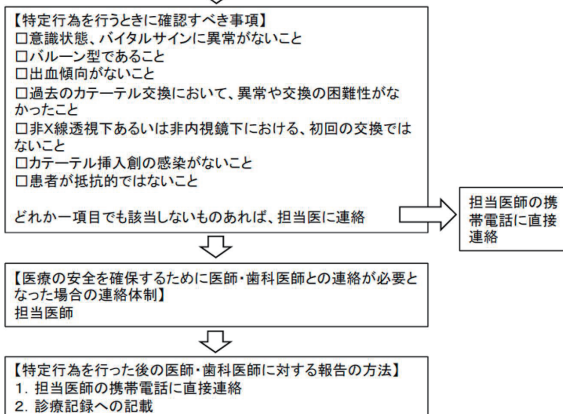


手順書その2を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その2)



手順書その2を確認



この講義のポイント

- ・ 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- ・ 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

基本症例1

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
既に交換を最低1回済ませている患者で、
・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
・定期の交換の時期

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
□意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
□瘻孔から出血していない。
□胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
□内部ストッパーがバルーン型である。
□交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
□血圧のコントロールが良好であること
□出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

⇒ 担当医師に直接
連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内

↓ 安定
緊急性なし

特定行為を行う時に確認すべき事項

- 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- 血圧コントロールは良好
- 出血傾向はない
- 胃ろうボタンに縦の余裕があり、回転がスムーズである

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
既に交換を最低1回済ませている患者で、
・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
・定期の交換の時期

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
□意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
□瘻孔から出血していない。
□胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
□内部ストッパーがバルーン型である。
□交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
□血圧のコントロールが良好であること
□出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

⇒ 担当医師に直接
連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内

↓ 安定
緊急性なし

基本症例1

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうボタンの定期交換

OSCE 1 :
**バルーン型胃ろうボタンの
定期交換を行ってください**

解説

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうボタンの定期交換

基本症例2

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
 既に交換を最低1回済ませている患者で、
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
 ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
瘻孔から出血していない。
胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
内部ストッパーがバルーン型である。
交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
血圧のコントロールが良好であること
出血傾向がないこと

病状の範囲外
 不安定
 緊急性あり
 担当医師に直接連絡し指示をもらう

病状の範囲内
 安定
 緊急性なし

特定行為を行う時に確認すべき事項

- 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- 血圧コントロールは良好
- 出血傾向はない
- 胃ろうカテーテルに縦の余裕があり、回転がスムーズである

手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
 既に交換を最低1回済ませている患者で、
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
 ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
瘻孔から出血していない。
胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
内部ストッパーがバルーン型である。
交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
血圧のコントロールが良好であること
出血傾向がないこと

病状の範囲外
 不安定
 緊急性あり
 担当医師に直接連絡し指示をもらう

病状の範囲内
 安定
 緊急性なし

基本症例2

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

手順書その1を確認

手順書：胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
既に交換を最低1回済ませている患者で、
・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
□意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
□瘻孔から出血していない。
□胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。
□内部ストッパーがバルーン型である。
□交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
□血圧のコントロールが良好であること
□出血傾向がないこと

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

⇒ 担当医師に直接
連絡し指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

OSCE 2 :
バルーン型胃ろうカテーテル
の定期交換を行ってください

解説

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

まとめ

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認した。